

平成26年度施設管理に対する評価シート

◎基本情報

管理施設

①施設名	大阪市立クラフトパーク
②指定管理者名	一般財団法人大阪市教育振興公社・イオンディライト株式会社 共同事業体
③評価対象期間	平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日
④指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成28年3月31日
⑤所管課・担当	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当（電話：06－6539－3346）

管理運営業務等の概要

①業務概要	クラフト（手作り工芸）の総合施設である「クラフトパーク」における施設の維持管理と、陶芸等の工房を活用した創作教室・体験教室等の事業や、クラフト関連の情報提供等の各種事業の運営。
②利用状況の概要	施設利用者数51,930人（別途その他入館者21,082人有）
③施設の設置目的・目標（成果指標）	新たな基礎自治体が所管・運営する施設への移行に向け、平成26年度から2年以内に収支均衡を図る。
④年度目標	夜間閉館や人件費等の見直しによる経費削減を行うとともに、料金改定等の収入増策により、収支改善を図る。

◎管理運営の実施状況

1 施設の設置目的の達成及びサービスの向上

①施設の管理運営状況（管理運営方針・手法に沿った施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等の実施状況）	設備維持管理の状況、職員の体制、危機管理・安全管理など、施設の管理運営状況は仕様のレベルを十分に満たしている。
②事業計画の実施状況（計画に沿った事業実施、サービスの質、利用促進のための取組みと効果、利用者満足度の把握・反映状況、自主事業等の実施状況）	・地域団体や地域商店街などが実施する「古代市」への参加、老人介護施設や区民まつり、区民センターや大阪駅前再開発エリア内の複合施設への出前体験講座等、さまざまな団体・企業と連携した企画を実施した。
③施設の有効利用（他施設との連携状況、地域との連携状況、市民・NPOとの協働状況等）	・大阪市交通局との連携事業として、地下鉄6駅構内で出前体験事業を実施した。 ・「クラフトパークフェスタ2014」を実施するにあたり、運営に協力するサポーターを受講生から募集し、154名がクラフトパークで学んだ工芸の技法をフィードバックする機会を提供した。 ・平野区に婚姻届・出生届を行った区民へのお祝いの記念品の制作業務の公募型企画提案コンペに応募し、前年度に引き続き、制作業務委託者として選定されることにより、工芸の普及と施設のPRを行った。 ・大阪市立平野図書館と共催で「ミニ絵本展」を、クラフトパーク展示室で2日間実施した。 ・大阪市平野消防署と連携し、クラフトパーク展示室で「防火・防災図画展」を4日間実施した。

2 市費の縮減効果（収支状況）

①収入・支出状況	収入 187,360,089円 (利用料金141,781,791円、自主事業収入30,807,460円、管理代行料14,770,838円) 支出 187,360,089円
②市費縮減に係る取組み状況	市政改革プランの実施計画に沿って、現在の指定管理期間である平成26年度からの2年以内で収支均衡を図るため、収入においては、料金改定を行い、創作教室の基礎コースを27,000円、本科コースは33,000円と、それぞれ3,000円の値上げを実施した。 支出においては、開館時間を変更（夜間閉館）し、高額な光熱水費が必要な吹きガラス教室を休止するなど、市費歳出の大幅な縮減を図った。 ＜平成25年度＞（利用料金制）管理代行料 74,977千円 ＜平成26年度＞（利用料金制）管理代行料 14,771千円

3 社会的責任・市の施策との整合等

環境への配慮、就職困難者の雇用への取組み、個人情報保護に関する取組み等の実施状況	・個人情報保護規定を策定し、適切に取り扱っている。
--	---------------------------

4 その他（点検等における要改善項目の対応状況、その他特筆すべき事項等）

①評価項目概要	なし
②上記についての成果や望まれる対応等	なし

◎評価

1 所管所属による1次評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成26年度に実施した創作教室受講者アンケートにおいて、授業の内容については95%、職員や指導員の対応については96%の方から「満足」との回答が得られており、非常に良好なサービスが提供されていると評価しうる。	A
②市費の縮減効果に対する評価	平成26年度からの2年以内で収支均衡を図るため、指定管理期間初年度として計画どおり14,771千円まで市費が縮減されている。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報の保護など、社会的責任・市の施策と合致している。	B
④総合評価	安定的な利用者サービス、市費の縮減が計画どおり達成されている。	B

2 外部専門家等の意見

・管理代行料の激減（6000万円）に伴い、人件費の見直し（職員2名減）や夜間閉館、吹きガラス教室の休止等の厳しい状況が生じ、利用者数の減少及び収入減があったものの、様々な努力や工夫を重ねられ、結果的には収支相償う形となった事や、利用者の数や満足度の高さを維持している点は高く評価できる。 ・とりわけ、体験型自主事業の充足率の高さ、交通局や区役所、図書館や消防署等との連携による多彩な事業や「グランフロント大阪」「ディアモール大阪」等の民間施設における出張講座・広報活動など、アウトリーチ的な取り組みが積極的に行われている点も高く評価できる。 ・「こどもワクワク体験教室」等の人気の高い講座については、可能な範囲で、定員を増やし

てもいいのではないか。 ・ショップ販売、HPの自主運営などの工夫が良い。但し、ショップにしてもその他の事業も無限の収入増は困難であり、管理代行料の減は限界かもしれない。 ・大阪市としての設備更新が出来ておらず、中長期的な事業の枠組みを再検討する事が必要である。
--

3 所管所属最終評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成26年度に実施した創作教室受講者アンケートにおいて、授業の内容については95%、職員や指導員の対応については96%の方から「満足」との回答が得られており、非常に良好なサービスが提供されていると評価する。	A
②市費の縮減効果に対する評価	平成26年度からの2年以内で収支均衡を図るため、指定管理期間初年度として計画どおり14,771千円まで市費が縮減されている。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報の保護など、社会的責任・市の施策と合致している。	B
④総合評価	夜間閉館や吹きガラス教室の休止による経費の削減、料金改定や外部団体との連携事業における増収により、市費の縮減が計画どおり達成されており、おおむね事業計画どおりの効果が得られている。 今後は、充足率の高い体験型自主事業の定員を拡大するなど工夫し、効果的な施設運営を担うことが望まれる。	B

評価の基準 {

S…事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた

A…事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた

B…おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた

C…事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない